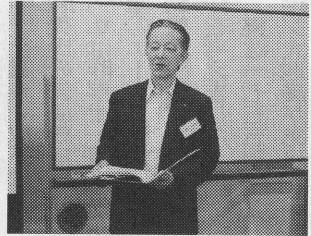


自社の「すごい」を「強み」に

リーダー養成塾開講



町田経営診断協会主催のリーダー養成塾第一回「魅力を高めるリーダー」が、八月六日午前十時から、町田商工会議所会議室において開催された。これは三回の講座で、町田商工会議所の後援。

開会剪頭、町田経営診断協会理事長猿山康継氏が主催者挨拶を行った。

「このセミナーは、皆様がりーダーとして会社の中で部下を引っ張る時とか、チームワークを組む時に、どのようにしたら良いのか、その解決法を三回に分けて行います。今日は会社の魅力について議論して頂きますが、会社の魅力を考える事の意味と、グループでどのように議論を進めて行くのか。その二点を学んで頂きたいと思います。

皆様には、他人の話を聞ける、または他人に話を伝えられる、意見をまとめられる、そして、どちらに行くのか決定できるリーダーになって頂ける趣旨の勉強会です」。

次いで、講師の兼子俊江氏(中小企業診断士)が講話を行った。

「会社の事は皆様は十分に分かっていると思うでしょうが、事業内容について話せても、自社の魅力や良い所については意外と話せないものです。

私たちがコンサルティングに入って、その会社を元気にしよう、働きやすい環境を整えようとしても、問題が多すぎると改善案を申し上げることしか出来ない。社員の方さんもすぐには会社の良い所は浮かびません。反対に、社員の皆さんが良い所を気づいていたら、どんどん生かして、社内文化や考え方が変わっていくかもしれません。

皆さんの会社にも、外部の人には『すごい!』と言わせる事はあるんです。だからこそ、会社の存在意義があるのです。だけど、意外と当事者は知らない。そして、問題や欠点はかり目につくと自信がなくなります。だから自社の魅力にもう一度目を向けましょう。

新商品の開発や新分野の開拓をする時に、ネガティブなものばかり出すと、その糸口がつかめません。最大限に生かすには、会社の魅力や良い点に気がついて、自覚して貰いたいという事です。

そして、もう一つ知ってもらいたい事は、魅力イコール強みではないと云うことです。幾つかあ

る魅力の中から、戦略的思考で強みを見極めなければならぬでしょう。

自社の魅力を自覚し、ポジティブな思考で、会社を元気にする、リーダーになって下さい」。

この後、ケーススタディで、魅力(強み)と課題を分析。午後からは、グループ討議で自社の魅力を考え、最後にレポートを作成して第一回目のセミナーは終了した。